

31H 岡田 実倅    32H 本吉 光貴    34H 山崎 莉逢  
 35H 片山 楽公    36H 長谷 さくら

■課題

就職先を求めた若者の都会への進出が多いことで、地元での就職が減っている。

■解決策

能登での就職のきっかけを作る

- ・能登の現状を大学の行事の一環として学ぶ機会をつくる
- ・Uターン、県内就職をすることのメリットを増やし、就活前の大学生に紹介する場を設ける

■現状（課題の背景）

○近年の就職者数

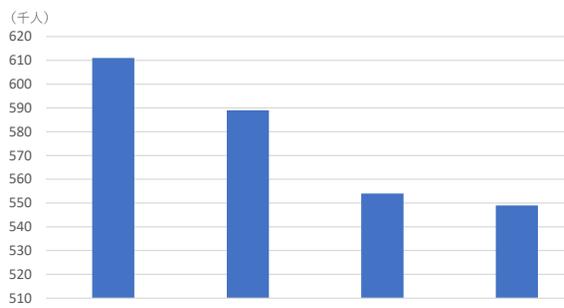


図1 平成24～27年 石川県の就業者数の推移

<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/roudou/Splan/documents/10jikeikaku-dai2bu.pdf>

➡ 年々就職数が減っている

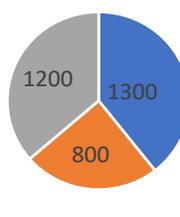
○高校卒業後の進路

県内進学（2100人）



図2 石川県内高校卒業後の進路  
 石川県平成27年いしかわ創生人口ビジョン  
[https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kikaku/keikaku/documents/vision\\_honbun.pdf](https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kikaku/keikaku/documents/vision_honbun.pdf)

県外進学（3300人）



〈県外就職する理由〉  
 志望する企業・職種がないから  
 大手企業がないから  
 給料や待遇が心配だから

➡ 職業を知る機会をつくる必要がある

石川県出身者のうち  
 県内大学進学者の25%  
 県外大学進学者の40%  
 が県外就職している

○能登地区の有効求人倍率（令和4年2月）

地域	安定所	有効求人数(人)	有効求職者数(人)	有効求人倍率(倍)
中能登	七尾	2,914	1,556	1.87
奥能登	輪島	1,236	836	1.48

図3 石川県の有効求人倍率  
<https://jsite.mhlw.go.jp/ishikawa-roudoukyoku/content/contents/001118110.pdf>

有効求人数が有効求職者数を上回っている ➡ 県が必要な人材を確保できておらず人材不足

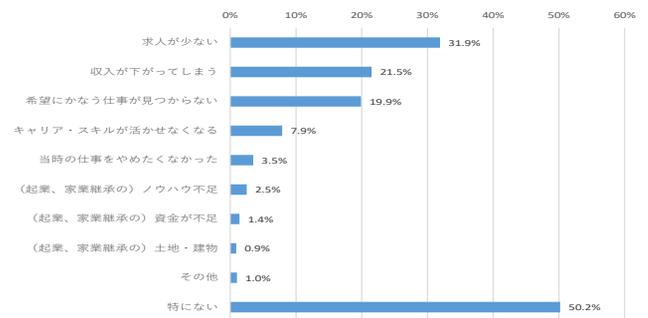


図4 Uターンにあたっての気付き  
[https://www.soumu.go.jp/main\\_content/000460085.pdf](https://www.soumu.go.jp/main_content/000460085.pdf)

■具体的内容

- 県内の大学生が協同で地域の問題解決を目指す活動を行う（例 能登里山里海 SDGs マイスタープログラム）
- 県内外の大学での合同企業説明会

■効果

	H28	H31
就職支援協定を締結した県外大学数（校）	16	20
県内出身県外大学生のUターン就職率（割）	6	7
県内出身県内大学生の県内就職率（割）	7.5	8.5

図5 主な KPI の状況（業績管理評価のための重要な指標）

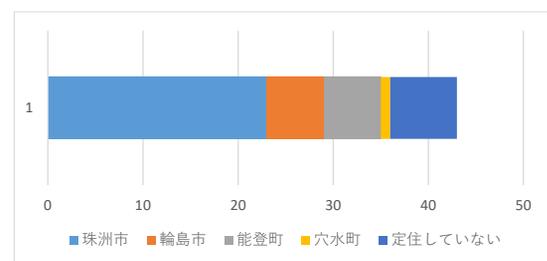


図6 定住した参加者の内訳

能登里山里海SDGsマイスタープログラムを終えた参加者のうち83%のひとが定住している

➡ 大学生にも同様の効果がみられる可能性

■参考文献

石川県での合同説明会の効果 <https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kikaku/keikaku/documents/04shiryu1.pdf>  
 能登里山里海 SDGs [ea7a55f1122c4aa44e39cc8c51285f7d-1.pdf](https://www.shiga-u.ac.jp/ea7a55f1122c4aa44e39cc8c51285f7d-1.pdf) (shiga-u.ac.jp)